

悪性リンパ腫に対してオビヌツズマブ（ガザイバ®）併用化学療法を実施中あるいは実施経験のある

患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に対するご協力のお願い）

獨協医科大学越谷病院 糖尿病内分泌・血液内科では、上記の治療を実施した方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容についてお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

濾胞性リンパ腫におけるobinutuzumab併用化学療法の有効性と安全性の検討

【研究の目的】

濾胞性リンパ腫は白血球の一種であるリンパ球に由来する悪性新生物（癌）です。進行期の濾胞性リンパ腫に対して有効な薬剤にはリツキシマブおよびオビヌツズマブなどの抗 CD20 抗体を用いた化学療法があり、それらにより治療成績が向上しています。オビヌツズマブ（ガザイバ®）を併用した化学療法治療は従来のリツキシマブ併用化学療法との比較で有効性の高い治療と評価された治療です。2018 年から日本国内でも使用されるようになり、実臨床での治療の有効性や安全性を評価することが重要と考えています。当科では、オビヌツズマブ併用療法を行った患者さんのカルテ情報を調査し、治療成績（治療効果）や薬の安全性（副作用）について評価し、今後の治療に役立たせることを目的に本研究を実施いたします。

【対象となる方】

2018 年 10 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までにオビヌツズマブ併用療法を実施した濾胞性リンパ腫の患者さん

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報：年齢、性別、検査結果（血液検査、尿検査、CT および PET などの画像検査）、オビヌツズマブ併用療法の実施状況、治療経過

【研究期間と参加予定人数】

研究は 2021 年 7 月の臨床研究倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで実施され、参加いただく方は 50 名を予定します。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本血液学会で発表され、関連雑誌への論文投稿を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学越谷病院 糖尿病内分泌・血液内科 岡村 隆光（学内准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 獨協医科大学越谷病院 糖尿病内分泌・血液内科

担当者：岡村 隆光（学内准教授） 電話番号：048-965-8253（医局直通） Fax 番号：048-965-8253

受付時間帯 月、火、水 9時から17時まで

以上